

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育指導費

事業名 農業高校GAP認証取得事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 学校支援課 産業教育係 電話番号：058-272-1111(内8670)

E-mail：c17782@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,070 千円 (前年度予算額：1,800 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,800	1,800	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,070	3,070	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

国際水準GAPの実施及び認証取得の推進は、農業人材の育成や農業競争力の強化を図る観点から極めて重要である。このため、国際水準GAPの実施及び認証取得の拡大が加速的に進展するよう、(畜産)の担い手を育成する県内農業高校のGAP認証取得拡大の取組を拡充し、支援する。

(2) 事業内容

①GAP認証取得審査および継続・維持審査

県内農業高校に対する第三者機関GAP認証取得および継続・維持認証に係る審査費用及びコンサルタント費用、審査員経費の支援

②青果物・穀物GAP 認証取得・維持継続審査

県内すべての県立農業関係高等学校におけるJGAP認証

③家畜・畜産物GAP 認証取得・維持継続審査

(乳牛) 岐阜農林高等学校

(肉牛) 大垣養老高等学校、加茂農林高等学校

(養鶏) 加茂農林高等学校

(3) 県負担・補助率の考え方

国負担10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
役務費	3,070	審査手数料、コンサルタント手数料
合計	3,070	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針1 ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成

目標5 産業教育の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

国際水準GAPの認証取得を県立農業高校6校全てにおいて実現するとともに、GAPを推進できる人材を育成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H29)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R5)	
					達成率	
GAP認証取得数 (取組数含む)	0	6	12	13	13	46.1%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	県立農業高校でGAP認証取得に取り組むことで、学校農場で適正な農業規範に則った生産が行われるよう環境整備を推進するとともに、その手法を学ぶ過程を通して、GAPについての知識・技術を持った農業の担い手育成を支援した。また、GAP指導者の養成として、県内農業科教職員を対象に国際GAP指導員研修を実施した。
令和 3 年度	県立農業高校でGAP認証取得に取り組むことで、学校農場で適正な農業規範に則った生産が行われるよう環境整備を推進するとともに、その手法を学ぶ過程を通して、GAPについての知識・技術を持った農業の担い手育成を支援した
	指標① 目標：13 実績：6 達成率：46.1%
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	GAPの実施及び認証取得の推進は、今後の輸出拡大や農業人材の育成など、我が国の農業競争力の強化を図る観点から極めて重要である。
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	各校がGAP認証取得に取り組むことで学校農場における生産活動が適正な農業規範に則って行われるよう環境整備が進んでいる。
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 2	GAP認証取得に取り組んだ学校が他校や地域農家等を指導したり、生徒間で学習した内容を共有し、地域へ発信するなど、効果的なGAP認証取得の推進と普及につながっている。

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GAP認証取得に必要な施設設備の整備費用の確保 ・ GAP認証の維持審査、更新審査費用の確保 (R3は支援対象予定) ・ 新たな区分、品目とならないGAP認証に必要な審査費用の確保

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>学習指導要領においてGAPの実践が明記され、これからの学校農場においても取り組む必要がある。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	<p>国際水準GAP認証取得支援事業費補助金 【農産園芸課、畜産振興課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	<p>GAPが実践できる農業の担い手の育成を図る。</p>